

横須賀日々新聞 第55号
2016年10月2日
あなたが地域の主人公 18

テーマ：子どもの貧困
(連鎖断ち切る支援に向け)

※許可を得て掲載しています。

あなたが地域の主人公 18

この夏「地域で子どもを見守り、育てるために」をテーマにしたセミナーが横浜のYMCA(関内)で開催された。主催は神奈川県子ども未来ファンド。3回のセミナーはどれも満員の状況であった。

第1回(7月3日)は「消えた子どもたち」と題して、ジャーナリストの石川結貴さん、弁護士の影山

子どもの貧困

秀人さんによって、なぜ居所不明の児童が存在するのか、実例をもとに見えない家庭の貧困状況が紹介された。社会から消えていく子どもたち、そのあまりに過酷な生育状況に会場は息をのんだ。

連鎖断ち切る支援に向け

第2回は、「地域に居場所を」と題し、寄り添う大人たちをテーマに開催された。そして第3回(9月22日)は、認定NPO法人チャイルドファーストジャパン・山田不二子さんと子ども未来ファンドの元理事長で、

県立保健福祉大学の前学長、山崎美貴子先生による「虐待から子どもたちを守るために」 SOSを受け止める」がテーマのセミナーであった。

第2回は、「地域に居場所を」と題し、寄り添う大人たちをテーマに開催された。そして第3回(9月22日)は、認定NPO法人チャイルドファーストジャパン・山田不二子さんと子ども未来ファンドの元理事長で、



「地域に居場所を」と題し、寄り添う大人たちをテーマにした第2回のセミナー＝8月21日、横浜YMCA

況は、近年ますます厳しくなっている。何とかしたいという思いは市民団体に共

通で、横須賀でもこの1、2年で大きく動いている。昨年は貧困家庭を救うフー

ドバンクについての情報が大きく取り上げられた。ことはその流れから子ども食堂の話題がしばしばメディアに載ってきた。貧困の連鎖を断ち切るための支援も動いている。サポートセンターも相談業務としてそれらの課題にしばしば関わってきて

いる。だがその現状はまだまだ模索中と言って良いだろう。

当センターを運営するYMCAでは、2012年に児童虐待防止の啓発事業「朗読劇ハッピーバースデー」を行って以来、学生たちを児童養護施設に派遣し、子どもたちと一緒に遊ぶ活動を続けてきた。横須賀の子どもたちのために、特に貧困という状況下に置かれた子どもたちのために何ができるのか、子育て支援団体と連携して考えていきたい。

(横須賀市立市民活動サポートセンター館長・高橋 亮)